

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 不破高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年6月3日(水)
- 3 開催場所 書面による開催
- 4 参加者

会長	竹内 治彦	岐阜協立大学教授
副会長	神谷 憲一	垂井町教育委員会教育長
委員	渡邊 勝敏	関ヶ原町教育委員会教育長
	長井 円覚	不破中学校校長
	太田 佳祐	垂井まちラボ
	浅野 宏	NPO法人泉京・垂井 代表理事
	乾 豊	本校同窓会会長
	鈴木芽久美	本校PTA副会長
学校側	浦野 善裕	校長
	高田 剛	教頭
	吉田 典央	事務長
	伊藤 健一	教務部長
	早野 賢謙	進路支援部長
	立木 翔	生徒支援部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和8年度教育指導の重点及び学校経営計画について

意見1: 内容が簡潔に整理されており、わかりやすくまとめられている。

意見2: 重点として掲げる「生徒の主体的な学びを核とした教育活動の推進」および「地域との連携・協働を通じた学びの質の向上による、主体的に社会に参画・貢献できる資質・能力の育成」に賛同する。

(2) 今年度の主な取組みについて

意見1: 地域と連携した多様な教育活動が展開されている。教員の工夫と尽力により支えられている取組である。

意見2: 地域とかかわり、地域とともに活動する高校生の姿は生き生きとしている。教育的

効果の高い活動が企画・実践されている。

意見3：昨年度、「まなぼーや」から始まった取組は、学校としての進化・発展が見られる。

意見4：「水ゴゴ」の活動は多様な内容で構成されており、関心を喚起する取組である。

意見5：教員による出前授業は、地域の中학생との接点の拡充や教員の意欲向上につながる取組である。

(3) 意見交換

意見1：生徒の意見を十分に反映させ、主体的な活動を更に充実してほしい。

意見2：生徒の意欲を高める指導を行い、卒業までの指導を充実してほしい。

意見3：進学校としての教育内容の充実を図るとよい。

意見4：学校案内における教育課程（カリキュラム）の記載をわかりやすくするとよい。

意見5：定員充足率の向上に向け、取組の活性化を継続する必要がある。

意見6：少子化の進行に伴い学校運営には多くの課題が想定されるが、引き続き取組の充実に努めてほしい。

意見7：自校型の通級実施校として、生徒の就職支援をどのように行っているか。
⇒就職活動に当たっては、通級指導における個別の支援内容や生徒の特性を踏まえ、障がい者就業・生活支援センターと連携し、企業の担当部署につなぐなどの支援を行っている。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・地域と連携した教育活動や、生徒の主体的な学びを核とした取組について評価が示されるとともに、定員充足率の向上や生徒の主体性を生かす指導の在り方などについて意見が出された。
- ・本校に寄せられた期待や要望を多く聴く機会となった。今後の学校経営に活かしていく予定である。